

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	電子制御設計製図Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0094			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	講義資料を配布する。						
担当教員	黒山 喬允						
到達目標							
以下の各項目を到達目標とする。 ①電気用図記号を正確に用いる標準的な製図法を身につける。 ②アナログ電子回路の解析について理解する。 ③電子回路CADと電子回路シミュレータの基本操作を身につける。 ④基本的な電子回路の設計法を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1	電気用図記号を正確に用いる標準的な回路図を短時間で作成することができる。			電気用図記号を正確に用いる標準的な回路図を作成することができる。		電気用図記号を正確に用いる標準的な回路図を作成することができない。	
2	電子回路シミュレータを用いるアナログ電子回路の解析結果を理解し、回路の特性を把握、改善することができる。			電子回路シミュレータを用いるアナログ電子回路の解析結果を理解することができる。		電子回路シミュレータを用いるアナログ電子回路の解析結果を理解することができない。	
3	電子回路CADと電子回路シミュレータを用いて短時間でアナログ回路の解析を行うことができる。			電子回路CADと電子回路シミュレータを用いてアナログ回路の解析を行うことができる。		電子回路CADを用いて標準的な回路図を作成することができない。	
4	授業の課題以外でも、電子回路を設計することができる。			授業の課題等で示した基本的な電子回路を設計することができる。		基本的な電子回路を設計することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	回路図の製図法と電子回路CADソフトの使用法、電子回路シミュレータによる解析法について学ぶ。標準的な製図法、電子回路シミュレータの仕組みと回路の解析法について理解することを目標とする。						
授業の進め方・方法	標準的な製図法と回路解析の原理を講義するとともに、情報演習室で電子回路シミュレータを用いて回路の解析と製図の実習を行う。 英語導入計画：Technical terms						
注意点	電気回路や電子回路といった他の科目との関連に留意して、予習・復習を行うこと。本講義で用いるソフトウェアは学生自身のパソコンにもインストールすることができるため、教室外でも使用して習熟して欲しい。 学習・教育目標：（B－1）40％，（D－2 設計・システム系）60％						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	電子製図の概要・電子回路シミュレータの操作方法		電子回路シミュレータを立ち上げることができる。		
		2週	電気用図記号と製図法		回路記号を読み描きすることができる。		
		3週	スケッチと製図		実装された回路を図面として描き起こすことができる。		
		4週	電子回路シミュレーションの基礎 (AL レベル C)		電子回路シミュレータで回路図を書くことができる。		
		5週	DC解析		DC解析の意味と原理を説明することができる。		
		6週	過渡解析		過渡解析の意味を説明することができる。		
		7週	整流回路の解析 (AL レベル C)		整流回路の過渡特性を解析することができる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	トランジスタの特性 (AL レベル C)		トランジスタの特性を電子回路シミュレータを用いて確認し理解することができる。		
		10週	トランジスタ増幅回路の設計 (AL レベル C)		エミッタ設置増幅回路を電子回路シミュレータを用いて設計することができる。		
		11週	AC解析		AC解析の意味を説明することができる。		
		12週	交流回路の解析 (RC回路, RL回路) (AL レベル C)		RC回路およびRL回路の過渡特性と周波数特性を解析することができる。		
		13週	オペアンプ増幅回路の設計 (AL レベル C)		オペアンプ増幅回路を電子回路シミュレータを用いて設計することができる。		
		14週	オペアンプ増幅回路の解析 (AL レベル C)		オペアンプ増幅回路の過渡特性と周波数特性を解析することができる。		
		15週	期末試験の解説 講義のまとめ				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	課題		合計		
総合評価割合		60	40		100		
得点		60	40		100		